

上 経 発 第 1 2 0 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

群馬県上野村長 松元 宇隆



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記について、別添のとおり提出いたします。

道路は、国民生活の向上、経済社会の発展にとって欠くことのできない最も基本的な社会資本であり、幅広い地域の人々の生活や経済に大きな役割を果たしております。道路特定財源の一般財源化は道路交通網の発達している中央中心の考え方であり、地方の道路整備は大変遅れていて未だに改良の出来ない国道がたくさんあるのが現状です。道路特定財源は地方にとっては、まだまだ必要なんです。均衡ある国土の発展、地域間格差の是正のためにも地方道路整備は必要不可欠であり中山間地域ではその存亡にもかかわる問題となっておりますので、地方道路整備の必要性、重要性を強く認識いただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

群馬県上野村

○現状	○課題
国道299号は、昭和45年に国道に昇格以来、整備はいたっていたものの、肝心の長野県境は未だに未改良区間があり、39年間の長い間ルート決定さえされないままとなっています。また、国道462号についても改良が進まず、狭隘箇所や急カーブが多く、交通の難所となっている。 こういった中で、少子高齢化、過疎化にあえぐ町村は長い間地域の振興施策のために膨大な経費を費やして取り組んで来たが、結局交通事情が原因であまり効果が上がらなかった。この原因を解消することが、この地域の振興発展に繋がる最大のものと確信しています。	経済効果論優先の道路整備であるため、都市部に一極集中され地方が置き去りとなっている。地域によっては投資先行型の考え方も持つべきである。

全国の中山間地域の過疎市町村は、人口も少なく高齢化が進み経済基盤が弱体化する中で、国の進める一連の政策によって都市部との地域間格差がますます広がりがり、長い歴史を有する集落も衰退し消滅の危機に及んでいる。長い間この地域は国土の発展のために人材、食料、水、エネルギー等を都市部に供給し、国土保全等の多面的機能が発揮されるように貢献してきた。過疎化、高齢化が進む中で懸命に地域振興策に取り組んできたが、効果は上がらずその原因は交通事情によるものだと言うことを痛切に感じている。何度も陳情や要望を繰り返して来て、その成果もなく現在に至っているが、都市部と違い贅沢な高規格道路を望んでいる訳でもなく、ただ最低限安心して定住できる環境を整えるための道路を望んでいるだけなのである。医療機関に繋がるまたは集落を維持するための道路でもあり、交通量などの経済効果だけで判断できないニーズもあります。道路1本が通じることによってこの地域は一変するのです。

今後広域的な交通アクセスが飛躍的に向上すれば、その立地条件を生かした様々な産業が興り、固有の文化が栄え、雇用の創設が図られ、定住人口が増加し都市と山村の共生や対流の推進等、山村地域の振興発展が図られます。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

群馬県上野村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	県道下仁田上野線塩ノ沢峠トンネル化 群馬県南牧村と上野村を結ぶ湯ノ沢トンネル（3323m）の開通	・ 冬期間の積雪路面凍結による通行止めの解消 ・ 急カーブ・危険箇所の回避 ・ 時間の短縮により医療機関への救急搬送、通勤、通学が容易になる ・ 観光客等の交流人口の増大（ツアー、はとバスの乗入れが可能となる） ・ 観光施設の設置（観光総合案内所・特産物販売所・温泉センター） ・ 乗合バスの運行が開始される ・ 村内観光施設、事業所、宿泊施設の売上の増大により、地域の活性化に繋がる	幹線道路（上信越自動車道下仁田IC）乗入れ30分構想の実現